

防災対応の実施に必要な体制・仕組みの検討

① 実施内容をあらかじめ計画として定めておくことについて、実施段階での連携について

- 異常な現象が発生した場合、社会混乱等も想定されることから、その際に的確かつ迅速に対応を行うために、実施内容をあらかじめ計画として定めておく必要があるのではないかな？
- 各地域で事前対策の進捗等、地震災害からの脆弱性が異なるので、その状況を踏まえて各地域で調整を行う等により、地域内での計画の整合を図るとともに、実施段階での連携を図るべきではないかな？

② 一斉に対応を実施する仕組みについて

- 脆弱性や対応を行った場合の影響は各主体で異なることから、対策の実施の判断は個々の主体が行うべきかな？
- それとも、観測される異常な現象に関する情報は普段馴染みのない情報とも思われるため、各主体が独自に判断して対応を行うと社会混乱が生じる恐れも考えられることから、一斉に対応を行う仕組みが必要かな？

○ 地域や関係機関との、想定される状況とその課題の認識の共有について

- 地域によって地震災害からの脆弱性も異なることから、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合の対応の具体化には、地域での検討が不可欠。
- しかし、本ワーキンググループで扱っている課題は十分に認知されているとは言えない。
- このことを考えると、まずは地域や関係機関に対する説明会の開催などを通して、異常な現象が観測された際に想定される状況とその課題についての認識を共有した上で、具体の対応の検討を進めていく必要があるのではないか？